

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年1月15日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年1月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【雑固体焼却設備の搬出入トラックヤードシャッターの動作不良について】 雑固体焼却設備の搬出入トラックヤードシャッター開閉スイッチの「閉ボタン」を押したところ、約30cm閉のところで停止した。 その後、開閉スイッチでは、どちらにも動作しないことを確認。 手動では、開閉可能。 今後、点検・修理予定。	GⅢ	1月7日
2	【雑固体焼却設備パレット搬送台車のパレット落下防止ストッパーピンの脱落について】 雑固体焼却設備において、パレットを搬送する台車のスナップリングの片方が脱落し、ストッパーピンが抜けかかっていることを確認。 当該搬送台車の使用を禁止。 今後、点検・スナップリング取付予定。	GⅢ	1月9日
3	【多核種除去設備 浄化水移送設備監視装置の「貯蔵タンク水位偏差不良」警報発生について】 多核種除去設備 浄化水移送設備監視装置の交換作業後において「貯槽タンク水位偏差不良」警報が頻発。 水位の監視は可能であり、貯蔵タンクに漏えいがないことを確認。 原因調査中。	GⅢ	1月9日
4	【1～4号機集中監視システムのサーバ1系停止について】 データ採取作業を動作系サーバ2系にて実施していたところ、待機系サーバ1系の停止を確認。 サーバ1系の再起動を数回実施したが再起動できず。 1～4号機集中監視システムの機能については、サーバ2系にて監視可能。 原因調査中。	GⅢ	1月10日